

四季

P2 理事長挨拶

P3 【赤岩病院より】
転倒予防教室を開催しました

P4 赤岩病院改修工事のお知らせ

P5・6 【TOPICS】
新任医師紹介／感謝状を贈呈されました
消防訓練を行いました／最新機器を導入しました

P7~9 【赤岩病院より】
リハビリ室の紹介

P10 【赤岩荘 年間企画行事のご案内】
秋祭りを行いました

P11 【グループホーム エバグリーン】
バスの来ないバス停





医療法人光生会 理事長

市川 朝 洋

あけましておめでとうございます

医療法人 光生会は、大正15年の開設以来、地域に根付いた医療・福祉サービスを目指し、長年取り組んでまいりました。医療法人光生会が、このように発展できたのも、地域の皆様のご支援の賜物と心よりお礼申し上げます。

この冬は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザウイルスの同時流行が懸念されております。新型コロナウイルスもインフルエンザウイルスのどちらもワクチンが普及し、治療薬も充実してきましたが、寒冷時は呼吸器感染症が重症化しやすい時期ですので、ワクチン接種をしていただき、免疫力を落とさぬように留意してお過ごしいただきたいと思っております。

さて、当法人では昨年に赤岩病院の厨房を改修し、安心・安全な食事提供を目指して取り組んでまいりましたセントラルキッチンが稼働いたしました。食事は患者様や入所者様の楽しみでもあります。食品安全性維持のために最新の温度システムを導入し24時間体制で監視し、今後も温かい食事を安心、安全に提供できるように取り組んでまいります。

今後も地域医療・福祉をさらに発展させ、皆様にますます信頼していただけるよう努めていきたいと思っております。今後とも皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年 新春

赤岩病院より

テン トウ
10月10日は
転倒予防の日



転倒予防教室を開催しました

皆さん、10月10日は「テン(ten)トウ(10)」、消費者庁の定めた「転倒予防の日」です。知っていましたか？ それに先駆けて赤岩病院では2023年10月3日に転倒予防教室を開催しました。当日は入院患者様やそのご家族様など多数ご参加いただきました。内容は当院の平井医師から転倒の原因や予防法などの講義、理学療法士から転倒予防体操を行いました。また、実際に使用しているリハビリ機器を体験していただきました。



「転倒は段差や滑りやすいなどの環境要因と、筋力低下や身体的疾患の内的要因が組み合わさって起きます。自宅で転倒する人が多いので、浴室にマットを敷いたり、段差のある場所に手すりをつけたりしてみてください。また、栄養状態も大事で、たんぱく質、炭水化物、脂質をとり筋力を減らさないようにすることも転倒予防につながります。」



コグニバイクという機器を体験していただきました。画面に問題が出てくるので、ペダルをこぎながら解答していきます。身体機能と認知機能を同時に使用する機器になります。



理学療法士による転倒予防体操の様子です。足の上げ下げや片足立ちなど柔軟性や筋力、バランスを保つ運動などを実演しました。



今回の転倒予防教室は東愛知新聞(2023年10月11日発行)にも取り上げられました。このような取り組みを通して少しでも地域の方々の支えとなれば幸いです。今後も様々な企画をしていく予定ですので、機会がありましたらぜひご参加ください。

赤岩病院

病院改修工事のお知らせ

赤岩病院では現在病院改修工事を行っております。

1階出入口付近の改修工事が着々と進んでおり、2024年2月上旬の完成予定です。

受付窓口



事務室



工事期間中は入院中の患者様、およびご家族の皆様には、ご不便とご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、万全の対策を期して臨んでまいりますので、なにとぞご理解の程よろしくをお願いいたします。

新任医師紹介

New Doctor Introduction



増田 猪一郎 医師
専門分野：眼科

2023年10月から着任された先生をご紹介します。

外来
診療

- 火曜日 午前8時30分～11時30分
- 月・水・木・金曜日 午前8時30分～11時30分
午後2時～4時30分

【所属学会・認定等】

日本眼科学会認定眼科専門医	日本眼科学会会員
ボトックス認定医	日本緑内障学会会員
視覚障害者用補装具適合判定医師	日本白内障学会会員

感謝状を贈呈されました



昨年10月22日、光生会病院が新型コロナウイルス感染症対策に貢献をした団体・事業者等として愛知県知事より感謝状が贈られました。新型コロナウイルス感染症は今後も一定の流行が続くと予想されますが、引き続き関係各所と緊密に連携し、地域の皆様に安全・安心な医療を提供できるよう努めてまいります。



消防訓練を行いました



2023年12月、東海消防設備様による現場指導のもと、夜間帯に新館3階より出火したとの想定のもと通報訓練・消火訓練を行いました。

訓練での緊張感を日々の業務にも生かし、職員全体の防災意識を高めていきます。訓練を何度か行う中で、いざという時に患者様をはじめ来院される方々の「安全と安心」を守ることができるよう、日々努力してまいります。



最新機器を導入しました



光生会病院では手術室の外科用イメージ装置を、フィリップスヘルスケア社のZenition 70に更新し2024年2月より稼働します。Zenition 70シリーズでは第4世代のフラットディテクタで辺縁まで歪みのない画像と、さまざまな組織に対して高品質な画像を描出することが可能です。これにより細かな部位の描出や被ばく低減を実現し、治療の質向上に寄与します。

また、脊椎手術に加え、外傷や関節などの整形外科手術、外科など幅広い領域において最高のパフォーマンスを発揮します。



フィリップスヘルスケア社HPより引用

専門スタッフと充実した設備で
患者さまをしっかりとサポート



リハビリ室の紹介

赤岩病院では2階と3階にリハビリ室があります。患者様以外で中に入る機会が少なく、どのような特性があるのかわからないとの声も聞かれます。そこで今回は2階と3階でそれぞれどんなことを行っているのかをご紹介します。

赤岩病院

2階

2階では主に理学療法士、言語聴覚士がリハビリを行っています。歩行練習など行えるように広々としたスペースを設けています。



歩行のための杖や歩行器、装具など多数そろえており、それぞれに合ったものを使用できるようになっています。また、必要に応じて購入することも可能です。





リハビリ機器もそろえており電気治療やバイクでの運動療法など、様々なリハビリを行うことが可能です。



言語療法のスペースとして個室を設けています。集中した環境でリハビリを行うことができます。

3階

3階は主に作業療法士がリハビリを行っています。身体機能に対するリハビリ以外にも、認知機能に対するリハビリや、日常生活動作(ADL)練習など様々なリハビリを行っています。



調理訓練など実際の家事動作、また作品作りなど活動は多岐にわたります。作品は展示して見えるようにしています。



簡単ではありますがリハビリ室を紹介させていただきました。今後も新たな機器を取り入れたりして患者様にあったリハビリを提供できるよう日々努力してまいります。

赤岩荘

年間企画行事のご案内

秋祭りを行いました

介護老人保健施設の役割の一つとして地域貢献があります。その中の一つで入所者様が地域住民と一緒に活動したり、交流を深めたりするなど、地域に貢献する活動を行っていることが必要とされています。赤岩荘では年間行事を数多く行っていましたが、新型コロナウイルスの影響により開催が困難となっていました。

新型コロナウイルス (以下: コロナ) 流行前は以下のことを行っていました

- 地域交流として秋祭りを開催し、地域の方と入所者様が交流していました
- 季節を感じるようなレクの開催
- 定期的に外出レクを行い、近くの喫茶店に行っていた
- 近隣の保育園との交流も行っていた

年間企画行事を行うメリット

地域住民との交流や季節を感じるレクの開催については認知機能の予防だけでなく、利用者の意欲の向上、精神面の落ち着きをもたらすこともあります。



今年はコロナが5類となり感染対策も徐々に緩和されてきました。何とか工夫をして今年は秋祭りを約4年ぶりに開催することができました!!今年も地域住民を招待しての開催ではありませんでしたが、地域から太鼓、大正琴、三味線、日本舞踊の方々をお招きして、入所者様を対象に開催しました。

今回は昼食をバイキング・選択式にして食事を楽しみ、午前、午後それぞれで地域から招いた催しものを観覧しました。入所者様が笑顔で楽しんでいる姿を見てスタッフ一同嬉しい気持ちになり開催できたことを嬉しく思っています。



今後とも利用者の満足度が向上できることまた地域交流を図り、地域貢献できるように努めてまいります。今後とも赤岩荘をよろしくお願いいたします!!

グループホーム エバグリーン

グループホーム エバグリーンの玄関前にバス停があるのはご存じでしょうか?ただ、このバス停はいくら待ってもバスが来ることがない「バスの来ないバス停」なんです。

現在、「バスの来ないバス停」を豊橋のグループホームを中心に広げようとする動きがあります。令和5年12月現在、豊橋市に8基、新城市に1基設置されております。最近では、テレビや新聞などでも紹介されたのでご存じの方もおられるかもしれません。ちなみに、エバグリーンに設置された様子は翌日の東愛知新聞に掲載されました。



そんな認知症の人に寄り添う「バスの来ないバス停」をご紹介します。



「バスの来ないバス停」とは

「バスの来ないバス停」はもともと、ドイツの介護施設で考案されたと言われております。認知症の人が自宅に帰ろうとした際に、交通機関を探す事が多いとの気づきから生まれた認知症ケアの一つです。バス停で待っていれば帰ることができる、と安心して心穏やかにバスを待つ。職員は無理に引き止めずに寄り添う。そのうちに、なぜにそこにいるかということをおぼえてしまうので、職員の声かけに従って施設に戻られる。

また、認知症で道に迷われた方や徘徊者は、自分がどこにいるのかわからなくなると、何か目印になりそうなものを探します。実際の徘徊者発見場所として、バス停付近で見つかることもあるそうです。



豊橋での「バスの来ないバス停プロジェクト」

豊橋の「バスの来ないバス停」は手作りだったり似せた作り物でなく、本物のバス停が使用されております。それもそのはずで、「廃棄される標識の有効活用はSDGsにもつながる。」と社会貢献の一環として不要になったバス停の標識を「バスの来ないバス停」として役立ててもらおうと豊鉄バスから寄贈されたものだからです。地域との繋がりと認知症啓発に努めようとする動きが豊橋から始まっております。

エバグリーンの玄関前にある停留所の名前は「赤岩荘・エバグリーン」、行先は「グループホーム エバグリーン」、経由地には「医療法人光生会」と書かれており時刻表の下には大きく「いつまでもお元気で」と印刷されてます。興味ある方は見学にいらしてください。

施設見学や入所に関するご相談等あればエバグリーンまでご連絡ください!

エバグリーン TEL 0532-62-4434



みなさまの輝くいのち、守ります。

年に1度は健診を

~いつもと変わらない
何気ない日常が1日でも長く続くように。~

健診に関するご質問・お問合せは

総合健診センター

〒440-0045 豊橋市吾妻町137 フリーダイヤル.(0120)-613-266
TEL.(0532)61-3000 FAX.(0532)61-2962 メールアドレス kenshin@kouseikai-hp.or.jp



消化器疾患の早期発見・ 早期治療を ~豊富な実績に基づく確実な検査~

消化器内視鏡検査に関するご質問・お問合せは

消化器内視鏡センター

〒440-0045 豊橋市吾妻町137
TEL.(0532)61-3166代表 FAX(0532) 69-3635



光生会病院 TEL.(0532)61-3166

総合健診センター TEL.(0120)613-266

消化器内視鏡センター TEL.(0532)61-3166代表

地域医療連携室 TEL.(0532)61-3213



介護老人保健施設 赤岩荘

TEL.(0532)66-1123

グループホーム エバグリーン

TEL.(0532)62-4434



赤岩病院 TEL.(0532)62-2105

医療病棟

介護医療院

回復期リハビリテーション病棟

交通のご案内

